

福祉の輪 広げたい



ホームページ

緑友会

検索



神奈川県内で3番目の道の駅として『道の駅 清川』が昨年11月21日にオープンしました。清川ホームの椎茸等地域の特産物や農産物も販売されています。(清川村)

第26号の内容

『道の駅 清川』オープン	1
NEWS 1～11	2・3
ピックアップ	4～7
もろさんが行く	8



2階 無料休憩室



1階 販売所

観光情報が確認でき、2階の無料休憩室は24時間利用可能です。

NEWS 1

新たに御就任いただいた評議員の皆様のご紹介！ (50音順)



久崎教生評議員



小林賢評議員



土屋宏評議員



遠山一徳評議員

評議員が改選を迎え4月1日より新しい体制となりました。外部の目でチェックする役割の重要性は一層大きくなっています。今期は4名が交代となり上記の皆様に御就任いただきました。

久崎様は元厚木市議会議長、小林様は元神奈川県

企業庁長（副知事級）、土屋様は元神奈川県民間保育園協会常務理事、遠山様は元小田急電鉄(株)常務取締役で小田急不動産(株)の社長も務められた方です。優良な運営、法令遵守に努め評議員の皆様にも評価される法人を更にめざしてまいります。

NEWS 2

新理事に大垣氏が就任！



大垣真一理事



伊勢原ふたば保育園にて

いせはら災害ボランティアネットワーク代表の大垣様が新理事に就任。保育の現場を学びたいとの意向を受けて産休に入る事務員の休業期間を伊勢原ふたば保育園で事務長を務めていただくこととなりました。

NEWS 3

総務の新執行体制！



矢作政行総務局長



小林博己総務部長

総務体制をより一層強固にする為に矢作部長が局長に昇格し、伊勢原市総務部長を3月まで務められました小林様を法人に迎え、総務部長に就任いただきました。よろしくお願い申し上げます。

NEWS 4

伊勢原市長からの感謝状！



みどり園

長年における積極的な火災予防活動に対する功績が認められ、伊勢原市長から感謝状（事業所表彰）をいただきました。みどり園の自主防災は毎年の出初式でも紹介されています。

NEWS 5

交通安全優良事業者表彰を受賞！



清川ホーム

5月に厚木市文化会館で行われた平成28年度厚木警察署管内安全運転管理者総会において、清川ホームが交通安全優良事業所として表彰されました。受賞を励みとして更に努力を積み重ねます。

NEWS 6 代表者会議に身近な声を!



法人本部

4月の調理と医療の主任制度導入に合わせ、毎月開催されている法人代表者会議に土屋主任調理師と藤木主任看護師が出席しています。二人が加わったことで園児や利用者、職員の皆さんの身近な声を生かすことができる体制になりました。

NEWS 7 利用者増加! フェイスブックも!



アトリエヴェルデ

開設して3年目に入ったアトリエヴェルデでは着実に利用契約される方が増え、作業受注もより一層安定してきました。作業の状況をより理解しやすいように『フェイスブック』もアップする等、明るい前向きさが好感を与えているようです。

NEWS 8 小田急ハウジング社長が視察!



つくし

(株)小田急ハウジングの端山取締役社長と山崎取締役が就労に向けて努力している障害者について学びたいと、就労継続支援B型事業所つくしを視察して下さいました。感謝申し上げます。

NEWS 9 マジックショーを開催!



伊勢原ふたば保育園

法人設立35周年記念として伊勢原ふたば保育園ではマジックショーを開催しました。園児達の驚きや歓声が成長の一助となるよう祈りました。本厚木ふたば保育園では、今年5周年記念事業を予定しています。

NEWS 10 広報体制が第3段階に!

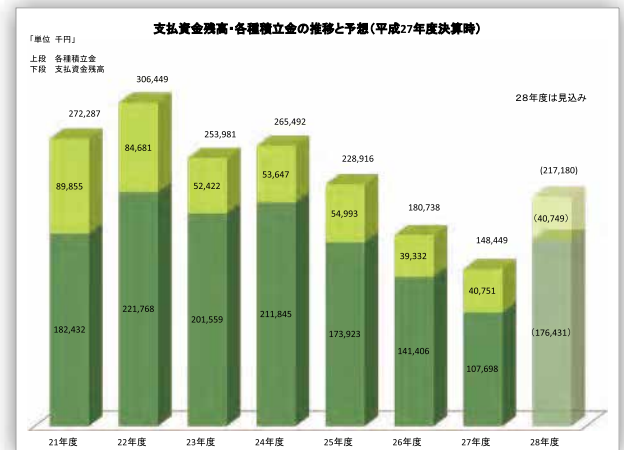


創刊号表紙

第15号表紙

緑友会通信は創刊号から第14号までは職員中心で編集し、第15号から第25号までは法人理事が編集と視点を変えてきました。この第26号からは幹部職員が編集の中心を担います。乞うご期待!

NEWS 11 28年度予算と27年度決算!



上表は支払資金残高と各種積立金(運転資金と貯金)の推移です。財政面の回復が見込まれて予算と決算が承認されました。生活環境改善の施設整備も着実に進みました。協力に感謝します。

ピックアップ1

◎ 一泊旅行を満喫（みどり園） ◎

みどり園では、利用者の皆さんの一泊旅行を年間行事に組み込み、園の全体行事として長きに渡り企画運営してきました。利用者の皆さんは、毎年一泊旅行に参加されることを非常に楽しみにされており、旅行先では、普段の日常とは違った雰囲気味わいながら、にっこり笑顔で旅行を満喫されています。

一昔前は、新幹線を利用して遠方への旅行も企画してきましたが、高齢化が進んでいる現状では、利用者さん一人ひとりのニーズに合わせて、楽しくのんびりと過ごせる日程を企画しています。

今年も6月に利用者や保護者の方々の希望に合わせ、2班に分か

れて鬼怒川温泉と伊豆宇久須温泉に行ってきました。旅行当日は、利用者みなさんが大好きな観光バスに揺られてホテルに到着、温泉に浸かって日頃の疲れを癒し、宴会で美味しい食事に舌鼓を打ち、食後は恒例のカラオケ大会で大盛況……。例年以上に盛り上がり、参加された方々も日常とは違った楽しいひと時を過ごす

ことができたものと思います。

1年に一度の宿泊を伴う旅行は、保護者の方々の参加により、他の利用者の家族との楽しいふれあひも旅行の醍醐味です。今後も利用者さんの状況に合わせた旅行を企画し、いろいろな体験をしていただきたいと思います。

(みどり園 施設長 平田 栄孝)



ピックアップ2

◎ 作業の充実と工賃の向上を目指して(アトリエ ヴェルデ) ◎

アトリエ ヴェルデは、平成26年に就労継続支援B型事業所として開設し、今年で3年目を迎えます。就労継続支援B型事業所は、一般企業への就職が困難な障害のある方に対して、知識と能力の向上に必要な訓練などを行っている事業所です。就労に必要な知識や能力が高まった方は、障害者雇用として就労される場合も多く、自立して生活していくための中間施設と言われています。

アトリエ ヴェルデでは、比較的簡単な手作業を中心として、

利用者の個性にあった作業と一般就労につながる支援を行っています。現在はクリーニング業者から洗濯されたものを受け入れ、たたむ作業やペンの組立、箱折などの作業を多岐にわたって行っていますが、事業所を開設して3年目を迎えた現在では効率よくできる作業にすこしずつ絞り込んでいくことを考えています。

得意な作業と苦手な作業がありますが、個人のスキルアップを図るため、苦手な作業にもチャレンジしていただき、少しずつできるよう支援をめぐしています。5月から始まった電子部品のカシメ作業などは細かい作業ですが、利用者の将来につながっていく作業だと考えています。

また、単価の高い受注作業を開拓し、利用者の皆さんが高額かつ安定した工賃が得られるように、なお一層努力していきたいと思っています。

(アトリエ ヴェルデ 施設長 石田 英弘)



ピックアップ3

和太鼓体験を通して（本厚木ふたば保育園）

本厚木ふたば保育園では、2年前から運動会で子ども達が和太鼓を演奏し、保護者の方々に披露しています。

和太鼓の練習は、指導者に厚木市を拠点に和太鼓チームとして活動している和太鼓集団「舞彩駒」(ぶさいく)の沢田和雄氏をお招きして、和太鼓の基本からリズムや叩く楽しさを教えていただいています。太鼓は、昔は儀式などで多く使われていましたが、最近では創作和太鼓として、身近で演奏されるようになってきました。また、和太鼓は全身を使って音を出す楽器で、スポーツをした時と同じだけの心拍数が上がるハードな楽器ですが、子ども達からお年寄りまで年齢を問わず桴(ばち)を振り落せば簡単に音が出て楽しめます。

子ども達は、和太鼓を叩く音を初めて聞いたときは、目を大きく開いて音の迫りに驚きますが、自分達が叩いてみると楽しくなり、どうやって叩いて良いのか、リズムはどうしたら良いのかなど、色々悩んだり考えたりしながら一生懸命に練習し、少しずつ上達していきます。運動会の本番では、初めは緊張と不安がいっぱいの演奏から始まりますが、それが徐々に自信に満ちた演奏へと変わっていきます。そしてクラス皆で団結して多くの人に感動を与えてくれる演奏をし、叩き終わった時は達成感いっぱい笑顔に変わっています。

普段の生活では、なかなか和太鼓に触れる機会が少ないと思います。本厚木ふたば保育園で和太鼓を練習して、演奏して、達成感が得られたことは、子ども達の思い出深い経験になると思いますので、これからも続けていきたいと思っています。

(本厚木ふたば保育園 リーダー 高橋 美穂子)



ピックアップ4

よりわかりやすく（つくし相談室）

つくし相談室の主な業務は、ヘルパー支援などの障害福祉サービスの調整なども含めた「サービス等利用計画」の作成であるとこれまでも紹介させていただきました。

この「サービス等利用計画」は、在宅で生活されている障害のある方だけでなく入所施設を利用されている方も作成する必要があり、みどり園や清川ホームの利用者の方も対象になります。

しかしながら、行政機関から通知される文書はわかりにくい部分が多いため、施設に対してご家族からの問い合わせも少なくありません。このため、つくし相談室では広報普及活動の一環として、年に1回ほどみどり園や清川ホームの保護者会に合わせて、「サービス等利用計画とは何か」という説明会を開催させていただいております。

内容としては障害者総合支援法の制度全体の説明をするほか、個別の相談も受け付けており、説明会終了後に、そのままつくし相談室で計画を依頼したいという保護者の方も多数いらっしゃいます。

保護者会の時に限らず、ご不明な点等ございましたらお気軽にお問い合わせください。

(つくし相談室 室長 柳田 将志)



ピックアップ5

現代の食生活と給食（調理・栄養担当者会議）

給食が誕生したのは、100年以上前の明治時代に貧困児童を対象に無料でおにぎり、焼き魚、漬物といった昼食を提供したのが始まりといわれています。昭和29年には学校給食法が施行され、時代のめまぐるしい変化とともに、脱脂粉乳から牛乳へ、コッペパンから揚げパンなどの調理したパンへ、米飯給食の開始へと食事内容も幾度となく改訂、改善され、メニューの種類も増えてきて現在の姿になりました。

現代の食生活においては、不規則な食事、栄養バランスの偏り、孤食、食の安全、食物アレルギーへの対応など様々な問題があげられます。給食の素晴らしいところは、決められた時間に提供され、栄養計算されたバランスのとれたもので、厳重な衛生基準があり、大勢で一緒に食事をすることにあり、現代の食生活の問題点をフォローできていると思います。

現在、緑友会では20名の給食従事者が、毎日、施設利用者や園児等の給食を調理しています。利用者や園児の中には、それぞれの状況によって、きざみ食の方や食物アレルギーのある方がいられますが、調理の段階、配膳の段階、食事の段階などにおいて幾重にもチェックをしながら安全な給食を提供しています。

これからも施設利用者、保育園の園児、喫食されるみなさんに安心、安全、笑顔になれる給食を提供できるよう一丸となって努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。



（主任調理員 土屋 力重）

ピックアップ6

交通事故防止に向けた習慣を（総務）

かなり前の話になりますが、友人が運転する車の助手席に同乗していた時のことです。信号機のないT字路に差し掛かり、一時停止をして広い道路に進出し始めた時、警察官に一時停止違反で車を止められました。車を停止させたことを申し立てましたが、警察官に「停止線の前で止まっていなかった。一時停止は停止線の前でタイヤが完全に止まらなければいけないと自動車学校で教わったでしょう。」と諭されました。確かに、一時停止はしたが停止線の前ではなく、停止線を過ぎたところで止まっていました。細かくは覚えていませんが、運転していた友人は何点かの違反点数が付き、数千円の反則金を支払うことになってしまいました。それ以来、この出来事を自分への教訓として一時停止箇所では必ず停止線の前で車を止めることを習慣付けています。

自動車は身近で便利な乗り物ですが、とても危険な乗り物でもあります。交通事故の主な原因は「思い込み」「ぼんやり」「判断の遅れ」などの慢心によるものがほとんどと言われています。大切なのは技術だけでなく心構えであり、多分大丈夫だろうという自分勝手な思い込み運転を続けていると、それが癖や習慣となり事故の原因となる危険性をはらんでいることを知ることが大切です。

ドライブなどの私的な場面や仕事の関係で運転する機会が少なくないと思います。人は、知らず知らずのうちに自分の癖や習慣が出るものです。改めて自分の運転に対する癖や習慣を振り返り、自分勝手な思い込み運転をしていないか思い起こすことが大切です。自分勝手な思い込み運転がいずれ大きな事故につながるかも知れません。普段から交通ルールに沿った習慣を身に付けるとともに、「だろう運転」ではなく「かも知れない運転」を心掛け、交通事故防止にあたるのが重要です。

（総務局長 矢作 政行）



今年度より、ミニクローラというクローラ水（電解次亜水）生成器を緑友会が運営する4施設（みどり園、清川ホーム、伊勢原ふたば保育園、本厚木ふたば保育園）に導入しました。

ミニクローラ本体は、3.5kgと軽くコンパクトなサイズで持ち運びできやすいものとなっています。作成したクローラ水は、大きなタンクに移し替えて保管します。

世界中に数多くの感染症があるなか、現在は感染症にかかった際の対応から感染症にかからないよう、感染予防対策に重点が置かれています。緑友会が運営する施設には、0歳の乳児から80歳代の高齢者までと幅広い年齢層の方々が利用されています。特に乳児や高齢者は抵抗力が弱く、様々な感染症にかかり、重症化するケースも考えられます。除菌してきれいな環境を作りすぎても身体の免疫機能が衰えるなどの考えもあり、徹底した除菌については賛否両論ですが、きれいな環境でご飯を食べ、遊び、空気のきれいな場所でくつろぎ、睡眠をとり、病気にかからず、毎日元気に生活して欲しいと願っています。

この除菌水は、インフルエンザやノロウイルスなどのウイルスにも有効で、感染症はもちろん食中毒予防にも役立ちます。使用用途としては、ノロウイルス等発生時の吐物処理、居室・保育室・給食室などのテーブルや椅子・床・ドアノブ等の除菌・消臭、手指消毒までと幅広く活用できます。

また、水と塩のみで作成できるため、コスト面も大幅に削減でき、今まで複数の消毒液を使用していましたが、この除菌水のみで対応できます。そして、利用者さんや園児さんが口に入れても害がないものとなっております。

今後も安心・安全に幅広く活用していきたいと思っております。

（主任看護師 藤木 佐恵子）



調理室では、包丁やまな板、野菜の除菌に使用しています。



ドアノブ、机などを定期的に除菌しています。



食事前には、手洗いをし、クローラ水を吹きかけ除菌します。



新もろさんが行く

右の写真どこかで見た覚えがありませんか？

新春2日の「箱根駅伝」往路は、このホテルの前の箱根宮ノ下を左折して芦ノ湖に向かいますので、テレビ画面でおなじみの光景です。湯本、大平台を過ぎてさらに登ると左手にひときわ目立つ建物が写真の「宮ノ下富士屋ホテル」です。

創業は明治11年、天皇皇后両陛下や外国人では喜劇王チャップリン氏が宿泊されたホテルとして有名です。文化財に登録されている建物を初めとして、庭園や各客室、温泉プール、大広間の華麗なレストランでの食事が名物のホテルで、左の写真は、ホテルの歴史が詰まった展示室です。



私も一度は泊まりたいと思っていましたが、その機会がありませんでした。ところが、この老舗旅館も昨今の風潮の中、「日帰りプラン」を始めているとの情報をネットで入手したので、その「日帰りプラン」に行ってきました。

昼12時のチェックインから夕方5時のチェックアウトまでの5時間は、デラックスツインルームでくつろぐことができ、そこに用意されたアメニティーなどは使い放題です。ホテルの大浴場での入浴も、部屋のバスの使用も自由です。また、室内温泉プールの利用もできます。

昼の食事は、超豪華なメインダイニングルームでビーフカレーと本格派コーヒーをいただきました。左の写真はメインダイニングルームで、天井の絵柄は一桧ごとに異なった日本画の装飾が施されています。また、庭の散策は自由にできます。

ただし、必ず予約が必要です。予約はネットでもできますが、電話の方が取り易いようです。(これは内緒です)

日帰り客に対しても、さすが老舗旅館と言われるだけあって、玄関での対応は非常に丁寧でした。最後に料金ですが、税込で1人7千円程です。

お土産は、ホテルに併設のベーカリー「ピコット」の美味しい食パンはいかがでしょうか。3斤で900円とお手頃ですが、すぐに売り切れてしまうとのことであり、ホテルに着いたらすぐに予約をしておく方が賢明でしょう。

(もろさん：広報担当理事 諸橋 晃)

社会福祉法人緑友会 各施設のご案内

社会福祉法人緑友会 本部・総務部

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-73-7221

障害者支援施設 **みどり園**

伊勢原市粟窪605-1 Tel: 0463-93-4722

障害者支援施設 **清川ホーム**

愛甲郡清川村煤ヶ谷3293 Tel: 046-288-2911

認可保育所 **伊勢原ふたば保育園**

伊勢原市高森1391-3 Tel: 0463-92-6226

認可保育所 **本厚木ふたば保育園**

厚木市田村町7-3-2F Tel: 046-295-2525

知的障害者
グループホーム **げんき家**

伊勢原市桜台2-16-25-201 Tel: 0463-91-7865

就労継続支援
B型事業所 **つくし**

伊勢原市伊勢原3-6-7 Tel: 0463-92-7900

相談支援事業 **つくし相談室**

伊勢原市伊勢原3-5-7 Tel: 0463-73-6027

就労継続支援
B型事業所 **アトリエヴェルデ**

伊勢原市田中70-5 Tel: 0463-79-8181

編集 後記

当法人では、本誌「緑友会通信」に加え施設ごとにホームページを発信しております。

<http://www.ryokuyukai-1980.jp> 又は「緑友会」で検索を行い表示される、社会福祉法人「緑友会」をクリックしてご覧頂けます、また各施設へは、このページからリンクをしております、ご利用下さい。

「福祉の輪を広げたい」第26号

発行：2016年7月

発行責任者：岩崎尊之（理事長）

編集責任者：矢作政行（総務局長）

事務局：社会福祉法人緑友会 総務部

伊勢原市伊勢原 3-6-7

Tel 0463-73-7221

印刷：カサハラ印刷株式会社

伊勢原市白根 475-1